

ヨシナカ新聞

12月号
発行所
株式会社ヨシナカ
東京営業所
TEL: 03-3555-0796

ガーベラ



写真の花は、先月(11月)にK社員が発表会で先生から頂いたガーベラで、一週間経つても元気に咲いてくれているので感謝の気持ちを込めて撮影したのでそうです。それにしても背景がなんだかわざとらしいですね。それに花は参加者全員が貰っているそうです。...

れ、花持ちが良い事から切り花や鉢植用に栽培されるものも多くあるそうです。花期は4〜9月、暖地なら4〜11月頃ですが、庭植できる寒さに強い園芸品種もあるので、一年を通して楽しめる花のようです。

花言葉は花の色別にいくつが存在するみたいですが、赤のガーベラの花言葉は『神秘』『常に前進』『チャレンジ』だそうです。先生はこれをご存知でK社員に赤いガーベラを渡されたのかもかもしれませんね(笑)

で、写真の背景は発表会で演奏したピアノ譜だそうなんです。はい、わかりましたわかりました。(--:)

ステンレス豆知識 SUS303

耐食性、靱性、延性、溶接性に優れるSUS304ですが、靱性が災いしてプレスや穴開け加工では切粉が離れなかったり、プレス部分がだれたりするケースがあります。その不具合を解消する為に、SUS304の成分を基盤に

サルファ(硫黄(S))を添加し、快削性に優れたSUS303という鋼種が誕生しました。

鉄と反応するとFESを生じる為、鉄には有害とされるサルファ、ステンレスにとっても一般的には不純物扱いですが、サルファを増やすことで鋼の中に硫化物を生成させて加工性を上げる事

が出来ます。ボルトやナット等によく使われるのがこのSUS303です

しかし、快削性を良くした反面、偏析(組織成分の不均一)により割れが発生する場合があります。その対策にCUを添加した鋼種(SUS303CU)が生まれました。

ルイボスティー



今年も秋の期間が短くて、一気に寒くなったように感じますが、いずれにせよ暖かい飲み物が欠かせなくなりました。数年前に友人から頂いたルイボスティー、ノンカフェインで、砂糖を入れてもストレートでも美味しいので、私にとって冬季には欠かせない飲み物になっていましたが、このルイボスティー、調べてみると、身体にとっても優しく、なおかつ健康に良いみたいです。

ルイボスは南アフリカ共和国西ケープ州のケープタウンの北に広がるセダ

ルバーク山脈(en)一帯にのみ自生する豆科の低木(いわゆる“しげみ”)の松の葉のような針状の葉の部分で、ルイボスティーは葉を乾燥させて作られています。健康茶の一種で、甘みがあり、カフェインを含まず、タンニン濃度もごく低く、抗酸化作用があるとされています。

茶葉自体に精神を安定させる働きを持つ「モノアミノオキシターゼ」という物質が含まれており、ストレスや精神の興奮を鎮めますので、夜に飲むと心地よい眠りを誘ってくれます。

抗酸化作用がありますので、老化防止効果があり、即効性はないものの便秘解消効果もあり、豊富に含まれているミネラルが肝臓の働きを助けますの

で、ルイボスティーで割って飲むと二日酔いしにくくなります。

まだまだルイボスティーの効用はあります。豊富なミネラルが摂り過ぎてしまった塩分による血圧上昇を抑えるので、食事時にルイボスティーと一緒に飲むと、血圧上昇を抑えるのに効果的です。

その他にも花粉症対策、加齢臭低減、アレルギー防止、お風呂に入れるとアトピー性皮膚炎、ニキビ、肌の乾燥などにも効果があるそうです。

ルイボスティーは新陳代謝や健全な神経システム、健康的な肌を作るのに効果的ですので、これからは冬季だけでなく、一年を通して頂こうと思っています。

K社員のフルート奮闘記

先生に言ってしまったフルートの展示会でNさんと演奏する事を承諾してしまった以上、もう練習しなないと、時間の取れる夜に楽器店の部屋を借りて行う練習にも力が入りました。音が出たり出なかったりする日々の練習を繰り返しながら、気がついてみると大分吹けるようになって来たなと実感出来るようになりました。そして本番2週間前の日曜日にNさんと一緒にレッスンを受ける事になりました。いつものレッスン室なのですが、先生以外にNさんがおられるだけで緊張しているのでしょうか、音が出てくれません。焦れば焦るほど音がかすれます。でも、これを乗り越えなければ本番でも音が出てくれる筈はありません。なのに、T先生はそんな私のフルートに触れ、向きを変えられたのです。言葉で言ってしまうと...。で、どうも言ってしまうのです。「先生が本番でもこうしてフルートの向きを変えて下さるのなら構いませんが、そうでないのなら、お願いですから私のフルートの向きを変えないでください」と...